

会 議 録

会 議 名	第 22 回米原市男女共同参画審議会
開 催 日 時	令和 6 年 5 月 9 日 (木) 午前 10 時～11 時 25 分
開 催 場 所	米原市役所 本庁舎 4 階 会議室 4 A
出席者および欠席者	<p><u>出席者</u>：小沢修司委員(会長)、塚田多佳子委員 (副会長)、谷本政信委員、堤辰也委員、渡部優委員、時田智史委員、西村正子委員、中村真理委員</p> <p><u>欠席者</u>：膽吹照子委員、笥ひとみ委員</p> <p>米原市：平尾道雄市長、宮川総務部長、筒井人権政策課長、澤課長補佐、谷川主幹、堀主任</p> <p>市男女共同参画センター：鏑田所長</p>
議 題	<p>【諮問書の手交】</p> <p>【審議事項】</p> <p>・米原市における各審議会・議会議員への女性参画について</p>
資 料	<p><u>当日配布資料</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 座席表 ・ 米原市人権センター S・C だより (5 月号) ・ まいばらニュースナビ <p><u>事前配布資料</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 次第 ・ 資料 1：米原市男女共同参画審議会委員名簿 ・ 資料 2：米原市男女共同参画審議会規則 ・ 資料 3：米原市における各審議会・議会議員への女性参画について ・ 参考資料：地方議会議員に占める女性の割合および割合の推移 <ul style="list-style-type: none"> ： 地方公共団体・地方議会の政治分野における男女共同参画の推進に向けた取組事例 ： 地方議会・地方公共団体における政治分野に係る男女共同参画の推進に向けた取組事例集
結 論 (決定した方針、残された問題点、保留事項等を記載する。)	○女性の社会参画や政治参画推進に向けた方策と取組等について 11 月頃の答申に向けて協議を進めていくこととなった。
審 議 経 過	議題について事務局から説明を行った後、各委員から意見等をいただいた。意見は別記のとおりである。
会議の公開・非公開の別	■公開 <u>傍聴者：なし</u>
会議録の開示・非開示の別	<p>■開示</p> <p>□一部開示 (根拠法令等：)</p> <p>□非 開 示 (根拠法令等：)</p>

全部記録の有無	会議の全部記録 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 録音テープ記録 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
担 当 課	総務部 人権政策課（内線 4263）

【第 22 回審議会 会議録】

(1) 米原市における各審議会・議会議員への女性参画について

資料3「米原市における各審議会・議会議員への女性参画について」に関して事務局から説明を行った後、各委員から御意見をいただいた。

(詳細説明略)

会長

先ほど諮問をいただいた「女性の社会参画や政治参画推進に向けた方策と取り組み等について」政治分野等における男女共同参画について地方公共団体としての責務を果たすとされている。つまり、政治分野等で男女共同参画について米原市の責務を果たしていくために何が必要なのか、何か手立てがないのかを議論いただきたいということである。平成30年に国で法律が設けられている政治分野に係る男女共同参画の推進に関する法律などを手がかりにしながら、11月頃の答申に向けて議論いただきたい。積極的な意見を伺いたい。

委員

市議会議員での女性参画で、米原市は女性議員がいないが、実際に女性議員の多い他市などでは、市は増やすために何かされてきたのか。経緯などは知っているか。

事務局

各女性議員の多いところの自治体の話は聞いていないが、毎回女性の方が出られているため特段されていないところもあり、女性が立候補されない自治体が逆に少ない状況である。米原市は、直近では女性の立候補者がなかったが、それまでは女性活動団体等から立候補され、数人女性議員がおられた。

会長

他に意見はありますか。

委員

以前、女性活動団体から2人市議会議員に出られた。事前に準備をするなどはなかったが、社会に関わる活動の中で「自分たちがやる」という気持ちになった。今は、会員も高齢となり、女性団体の役割も見直されてきている。

会長

議員に立候補し、当選して議員になること、参考資料の各地域における取組を見ると、女性が政治分野へ参画しやすい条件作りも各地でされている。最初から女性の立候補を増やす取組も大事だが、そのための条件整備をしていくことも、審議会での議論の対象になるのではないかと思う。参考資料では、女性議員がより活躍しやすいような規則の変更などがされているが、米原市

は女性議員がゼロなので、その前段階にある。女性模擬議会をされている事例があり、長野県南箕輪村の状況も紹介されており、平成30年11月に開催された女性模擬議会の録画データがホームページにアップされていた。正式な議会ではないが、そのような取組みも必要なのかと思い関心を持って見た。本日は自由な意見交換であるため参考資料を活用し、米原市にできることの見を出していただければありがたい。

委員

米原市では、なでしこネットがあると思うが、登録されてる方の人数と年齢層を教えてください。

事務局

現在、64の方がなでしこネットに登録されており、年齢層は比較的高齢だが最近では若い方も増え、令和3年、令和4年は3人ずつ新規に登録いただいた。紹介等により、近年は若い方も入っていただいているが、平均年齢は60代ぐらいだと思います。

委員

その中で、実際に審議会に参加され実際に動かされてる方、市政に参加されている方は何人ぐらいいるのか。

事務局

実際に審議会等委員になられた方は27人で、現在審議会でも活動いただいている方は数人。委員の更新時期には、担当課から照会依頼もあるため、なでしこネット利用で若い方にも審議会等への参加をいただいている状況である。

委員

数年前に、なでしこネット登録者の交流会を企画していただいた記憶があるが、今後はそういったことを考えておられるのか。

事務局

女性同士の交流も図れ、機運も高めることができるため検討したい。

会長

なでしこネットの交流会はよいと思うし、そういったことも大事だと思う。事務局の説明の中で、新しく任期が代わって新委員を決めるに当たり、なでしこネットの登録者リストを参考にすることがあるわけですね。64人の登録者のうち27人が今、現に審議会委員等に参加いただいているということですね。

事務局

27人はこれまで審議会に参加いただいている人数で、今、実際に委員として参加いただいている方は数人です。

会長

女性の社会参画を進めるための仕組みとして、なでしこネットがあることは重要な取組みだと思う。その他いかがか。

委員

女性活動団体では、毎年「市議会議員と語る会」と「市長と語る会」を開催し、身近な問題を市政に届けてきた。他に講演会も開き、芦屋市長だった女性を招き、応援いただいたこともあった。

会長

市長と語る会は聞いていたが、市議会議員とも語る会があったのですね。女性活動団体以外のその他市民団体が主催する取組や女性の政治参画、社会参画を進めるための取組などはあるのか。

事務局

市では女性活躍推進補助金の交付を行っている。女性活動団体の他に地域でグループを作り、街頭啓発や防災訓練、先進地視察、研修会等を実施され、女性が地域で活躍できることを話し合い盛り上げていく活動はあるが、市民向けの講演会等はない。人権総合センターSC プラザでは、男女共同参画推進事業として様々な講演会や料理教室など、幅広い催し等を実施されている。

事務局

市全体で男女関係なく、たくさんの団体が活躍されてるが、点で活動しているためネットワーク化が図れていない。どこでどの団体が活動されているのかがわからなかったため、今年は、みんなで繋がろうという事業を計画し、夏頃に第1回目の集まりを持てたらと動いている。講演会と交流会を計画している。みんなで話し合い、今後どういうことが必要なのかなど性別関係なくネットワーク作りを今年度目標としている。

会長

交流を進める上で、SC プラザは場所的に遠いように感じる。

事務局

できれば市役所の一室を借りて交流会を開催し、ネットワークを作れたらと思っている。若い方や高齢の方もいろんなことをされてるので、団結したら何か力を持てるのではないかと考えている。

会長

他の委員の方はいかがか。

委員

議員に立候補してくださいと言っても、なかなかできるものではないのが一般的な感覚だと思う。団体のリーダー等が意見をまとめる力を持っておられると思うので、その中で周りがバック

アップし、盛り上げていく流れを作っていくことはよいと思った。政治参画に当たり、女性に市がどのような部分でどのような意見を聞きたいのか具体的にあるのか。それが議員の役割かもしれないが、単に数字だけ女性を求めているのか、そうではなく、欠けている部分での女性の力が必要といった押し出し方によって女性の出方が変わってくると思う。

会長

米原市は女性議員がいないため、環境整備をするそれ以前だが、例えば妊娠や子育て中の女性議員への配慮や、傍聴のための保育、授乳搾乳ができる託児室の整備も将来の課題とはいえ、議員になったときに活動しにくい状況が見えていると、立候補もしづらい。女性議員への配慮ができていないと先んじて整備していくことも必要かなと参考事例を見て思った。各地で行われている参考事例資料を次回までに目を通し、積極的な意見をいただければありがたい。

委員

経験からの意見だが、審議会に出席するようになったのは子どもがまだ小さかった頃からで、子どもが小さいときは、外との接点があまりにもなく本当に孤独感を感じる。こうして公の場に出て意見を言えることができ嬉しかったし、託児をしていただけて助かった。たまたま私はできることの情報にたどり着いたが、情報にたどり着ける人が少ないのかなと思っており、女性議会議員がいないことを市が問題視していることも届いていないと思う。形として届いてくると効果的ではないかと思う。

会長

市の問題意識や取組、議論していることなどは、なかなか市民に届かず、今ほどの意見のように託児等をやっていただけでも知らない。市民に条件整備をしていることを届けることも大事。県では、資料のように地方議会議員の女性の割合の推移データをまとめているが、県では女性の政治参画を進めようという取組はあるのか。

事務局

調査は毎年国と県が行っている調査である。県においても人材育成や講演会の開催等が多いと認識している。

会長

他いかがか。

委員

女性議員への働きかけをしたことがあるが、大部分は家族が反対することが多かった。また、地域での応援も必要となるため地域を回って歩いたと聞いた。家の問題や地域の問題等で、議員に立候補しにくいところもあると思う。女性活動団体では、社会や政治の方にも目を向けることをやってきたが、高齢化に伴い色々な問題や課題があると思っている。

会長

これまで平成 25 年と平成 29 年には 2 人ずつ女性の市議会議員がおられた。前回は立候補者がなく女性議員はなしだが、元女性議員の方は今どうされてるのか。

委員

女性活動団体の会員等で、今もボランティア活動などをされている。

会長

女性議員だった方の話を聞いてみたい気がする。

委員

議員になられた方は、家族が協力されていた。

会長

立候補するには、やはり家庭内での相互理解等が必要ということですね。いろいろと検討すべきことがあるので、今後、整理し答申にまとめていきたいと思う。

委員

私は主任児童委員だが、民生児童委員の中には、ボランティア的な視点で頑張っておられる方、人前に立ってリーダーシップを取れる方などもおられる。女性も様々なところへ代表で出られているため、例えば民生児童委員から誰か立候補者を出してもらえるよう依頼をしてもよいのではないか。また、地域から推薦を得るなども大事なことだと思った。市では女性の役員を 2 人以上登用したら補助金がもらえるパートナーシップ補助金制度があるが、市内自治会で何か所補助金をもらっているのか。

事務局

市内の自治会数は 108 で、補助金交付は 16 自治会。

委員

もっと増やしていくことが大事だと思う。自治会から議員候補を出すなど思い切ったことも考えていければよい。パートナーシップ補助金をもらっている自治会が 16 では、地域から議員をと言っても出ないと思うので、女性役員が複数人いるのが当たり前になるように、行政からももっと言えるのではないかと思った。もう一つは、議員会派から一人ずつ女性を出すように努力してもらおうといった審議会からの提案でもよいのかと思った。

会長

資料 3 に政党による自発的なクォータ制度が紹介されているが、これを会派に置き換えるといった意見だが、それ以前に、米原市では地域からの推薦が得られないとなかなか難しく、女性活動団体の話でも地域を回ったという話もあった。自治会や地域から女性議員に入ってもらおう取組

みも必要で、米原市に限らず地方の状況を踏まえると、会派の取組みも大事だが、やはり地域での取組も大事だなと話を聞いて思った。

委員

クオータ制は、日本では採用していないため国としては無理だが、クオータ制を採用している国はどのような経過を経て国が認めるようになったのか。

会長

これは次回に向けて、米原市でクオータ制を取り入れることが可能なのか、取り入れるためには何が必要なのかを調べてもらう必要があると思う。政党や会派の立候補に当たり自主的とは書いているが、立候補者数の何割を女性立候補としてほしいなどを言えるのかどうか、次回情報提供いただければと思う。

事務局

話の関連で、自治会での女性委員選出の県内の一例ですが、草津市は女性の自治会長が非常に多く、市に何か取組されているのかを伺うと、基本的には何もしていないと言われる。新興団地が非常に多く、公共財産などもないため、生活していく上での安全や衛生、子育てなどを議論しようすると基本的に女性の自治会長しか出てこない。連合会に行っても女性ばかりで逆に男性の自治会長は行きにくいといった感じでどんどん女性が増えている。女性の生活目線での様々な課題などを変えていきたい思いを政治に届けようと思うと、女性の政治参加が好循環だと思う。ただ、米原の自治会は既存集落がほとんどで、集落外の林地や農地、神社、寺など財産がたくさんあり、財産を管理・維持しようとする作業等も必然であるため、男性が役員になるケースが多くなっている。女性も様々な思いや問題意識はあるけれど、男性ばかりの中に参加するより違うネットワークで頑張ろうという流れになってしまってる実情があると実感している。それぞれ問題意識を持っている女性もたくさんおられる中で、男性も変わらなければいけないと思っているけれど、アクションできないという市民に対し、審議会でのまとめも含めて発信することで、市民一人ひとりの考え方が変わるように、どのような取組が必要かなどといった議論をお願いしたいと思っている。市から議会に最低何パーセント出すようにといったことは公職選挙法の関係で法的に言えないが、事例のように、議会の中で3割の女性議員の立候補ができるように努めるべきといったことや、会派から立候補者ができるよう申合せを作るなど、積極的な提案・議論をお願いしたい。本日は意見交換の場であるため話をさせてもらったが、市民向けと議会向けに具体的な提案等を答申内容にさせていただけるようお願いしたいと思う。

会長

審議会で議論し、答申するということですね。他、御自由に発言をどうぞ。

委員

情報を届ける手段としてSNSの活用はすごく大事だと思う。特に若い層に情報を届けるために、「まいばらんど」というサイトを運営してる人が米原市におられ、ウェブサイトとインスタグラ

ムのアカウントで多くのフォロワーがいる。そのようなカジュアルな感じのところにも呼びかけて情報提供をしていただいたり、連携するのもよいと思った。

委員

女性市議会議員立候補者ゼロが一番問題だと思っており、誰か持ち上げる方も必要で、そのような環境を作っていく中で地域をあげてという話もあった。草津市では女性の自治会長が多い話があったが、米原市でも新興住宅団地で、自治会長は男性の名前が挙がっているが、自治会長を訪ねると奥様が出てこられ、小さな会議であれば代理で出ますと言われ、女性が動いておられる自治体がいくつかあるように感じている。私の自治会でも、実際には女性が動いておられていても、家の長として男性を立てるところがあり、根本的な感覚が少しずつ変わってくると変わるのではないかと思う。いくつかの自治会で自治会長に女性の名前が挙がってくると、そのような環境が自然にできるのではないかと思うが、それをどうしたらいいのか。誰が最初に手を挙げてくれるのかということもあると思う。米原市が決して人権や男女共同参画の感覚がないわけではなく、名前を立てる文化・感覚の問題もあると思っているため、今後活動する中で対策が出るとよいと思っている。

会長

11月頃に答申をまとめる方向で、皆さんには協力をお願いしたい。他にないようなら、本日の審議会を終了する。

《終了》